

## 第 21 回「中国地区 GHP 研究会」開催のお知らせ

謹啓

寒さの厳しい時節ではございますが、先生方におかれましてはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

第 21 回の研究会は、「統合失調症」をメインテーマとして開催する運びとなりました。

特別講演は、山口県立こころの医療センター院長 兼行浩史先生にお願いしております。兼行先生は精神薬理学、老年精神医学、司法精神医学などの幅広い分野を専門としながら、精神科臨床の最前線で活躍してこられました。当日は豊富な臨床経験に基づいた統合失調症に対する薬物療法における有意義なお話が聞けるものと思います。

ご多忙のことと存じますが、何卒ご出席賜りますようよろしくお願い申し上げます。

謹白

記

日時：平成 30 年 3 月 17 日(土) 16:00~19:00

場所：ホテルチューリッヒ東方 2001

<http://www.b-mozart.co.jp/hotel/>

参加費(予定)：1 名につき 1000 円 (当日受付にて徴収させていただきます)

【関連演題】 16:00-17:40

一般演題

座長 県立広島病院精神科 高畑紳一 先生

1. 「倉敷中央病院における統合失調症患者の身体合併症入院治療の現状—精神病床設置前後の比較—」

倉敷中央病院精神科 土田和生 先生

2. 「身体加療を妄想から拒否し、医療同意能力の評価に苦慮した高齢初発統合失調症の 1 例」

広島大学病院 上敷領俊晴 先生

3. 「精神症状により身体疾患の治療同意取得が困難であった長期未加療の統合失調症の一例」

山口大学医学部附属病院 精神科神経科 萩原康輔 先生

ケースディスカッション

座長 川崎医科大学精神科学 北村直也 先生

「精神症状の評価に難渋した統合失調症の一例」

広島大学病院精神科 土井勉 先生

<Coffee brake 17:40-18:00>

【特別講演】18:00-19:00

座長 広島大学精神神経科 町野彰彦 先生

『統合失調症圏への適切な抗精神病薬治療のあり方を再考する』

山口県立こころの医療センター 院長 兼行浩史 先生

共催：中国地区 GHP 研究会

顧問 山脇成人 (広島大学大学院・医歯薬保健学研究所)

山田了士 (岡山大学大学院・精神神経病態学)

代表世話人 和田 健 (広島市立広島市民病院・精神科)

当番世話人 町野彰彦 (広島大学・精神神経科)

大日本住友製薬株式会社